

清央小だより



サンキュー
令和7年度 第39号
2026. 3. 18

HP > <https://www.ueis.ed.jp/school/kiyohara-c/>

教 育 目 標	「夢いっぱい 友だちいっぱい 清央小」 ・自ら学び工夫する子ども (考 える) ・元気でがんばる子ども (鍛 える) ・礼儀正しく思いやりのある子ども(思いやる)
------------------	--

※ 本文は、ユニバーサルデザインのフォントを使用しています。

※ 学校の様子はホームページにも掲載しています。その際は、画像を一部加工することがあります。ぜひご覧ください。

祝！ 卒業

卒業証書授与式の式辞で、卒業生とその保護者の皆様に向けた部分を抜粋し掲載します。

卒業にあたり、私から皆さんへ、お願いしたいことが二つあります。

一つ目は、「自分の手で未来を切り開ける、逞しい人になって欲しい」ということです。

何年か前から、情報化社会の急速な発展などにより、未来が予測困難な時代だ、これから起こる変化に対応する力が必要だ、などといった言葉を耳にするようになりました。しかし、よく考えてみてください。三十年前、今のようなスマートフォンができ、ここまで多くの人が使うと想像できていたでしょうか。江戸時代の人々が、ある日突然、外国の船が来て、それまでとは全く違う文化が根付く国になると思い込んでいたでしょうか。

そもそも、未来とは予測困難なものなのです。だからこそ必要なのは、自分の力で未来をつかっていこうとする、前向きな力強さではないでしょうか。皆さんには、時代がどう変わろうとも、ただ流され、時代に合わせるだけでなく、自分の置かれた立場で、常に何ができるかを考え、行動していく力を持ってほしいのです。皆さんは、間違いなく、未来のこの国を、いや、世界をつくる担い手なのです。

二つ目は、自分の信念を持ち、正しく情報を扱う力を身に付けて欲しい、ということ です。

皆さんも知っているとおり、今はスマートフォンなどで簡単に情報を得たり、発信したりすることができます。その中で、SNS上に暴力行為をはたらく動画がアップされたり、ちょっとした誘惑から詐欺や闇バイトといった犯罪に加担してしまったりするといった、よくないことが起きていて、世の中をざわつかせています。

こんな時代だからこそ、皆さんは、自分が必要とする的確で正しい情報を見極め、上手に使いこなしていく力が、絶対に必要です。

どうぞ、嘘やデマに惑わされることなく、正しい判断ができるよう、自分の信念をしっかりと持ち、情報を正しく選択し、活用できる大人になって欲しいと思います。

この二つが、校長先生から皆さんに伝えたい、最後のメッセージです。皆さんの心の片隅に留めておいてくれたら嬉しいです。

保護者の皆様。改めまして、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。六年前、重たそうにランドセルに背負われていた子供たちも、もう来月からは中学生です。今後は、お子様の自立に向け、少し後ろから見守り、そっと背中を押していただこうような存在になっていただければ、と思います。お子様が自立し、離れていくことを寂しいとは思わず、どうぞ、誇りに思っただけければと思います。

結びに、皆さんが使っていた道徳の教科書の巻末にある言葉を添え、式辞といたします。

夢をつかむ、ちから。 もうすぐ中学生。

この6年間に、楽しいことや、うれしいことが、たくさんあったのと同じくらい、

つらいことも、くやしいことも、たくさんあったよね。

何かを経験するたびに、一生懸命考えた分、きっとキミの心は 力を付けている。

ちから持ち になっている。

友だちを思う、ちから。 力を合わせる、ちから。

気持ちを感じる、ちから。 違いを認める、ちから。

未来へ進む、ちから。 自分を見つめる、ちから。

この先、キミの夢をかなえるために、

その「ちから」は必ずキミを助けてくれるはず。

キミなら、きっと大丈夫。

さあ、胸を張って前に進め！

こころの力持ち

